

出水に備え『斐伊川水防演習』を実施します。

地元雲南市の自主防災組織が初参加、水防にチャレンジ！

記者発表資料

近年、気候変動の影響などもあって記録的集中豪雨が多発し大規模な洪水災害等が全国各地で起きています。ここ斐伊川流域でも平成18年の7月豪雨では、県都松江市が浸水し、流域の各地で甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。

国土交通省、島根県及び斐伊川沿川の出雲市、雲南市、斐川町は、こうした出水の際に迅速かつ的確な水防活動を行ない、災害の発生を未然に防止し、又は被害を最小限に食い止めることができるよう備えるため、水防技術の修練と志気高揚を図ることを目的に『斐伊川水防演習』を毎年行っています。

本年は、5月30日(土)に雲南市三刀屋町下熊谷地先の斐伊川左岸の河川敷において実施します。

この度の演習では、斐伊川の水防活動において必要となる代表的な水防工法を基礎から習得することを重点に訓練を実施する他、地元建設業者で組織する「災害対策協力会」と水防団とが連携して作業する工法、堤防が決壊した場面における建設機械を使った堤防の応急締切工、また、被災現場での活躍が注目されている「排水ポンプ車」「照明車」の実演を行います。

また今回は、一般参加としてはじめて地元雲南市の自主防災組織が訓練に加わる他、宍道湖より下流域の沿川市町の首長にも来賓として臨席賜る予定としております。

この演習は、平成元年に第1回目を実施して以来、今回で15回目になります。

平成21年 5月26日

国土交通省 出雲河川事務所

国土交通省 斐伊川・神戸川

総合開発工事事務所

島根県 雲南県土整備事務所

島根県 出雲県土整備事務所

出 雲 市

雲 南 市

斐 川 町

発表記者クラブ名

県政記者会・出雲市政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技術) 溝山 勇

建設専門官 錦織 正

Tel 0853-21-1850

平成21年度「斐伊川水防演習」の特徴について

水防団員の技術の習得を重点にした実践的演習内容としています。

工程と作業内容を理解し、必要な労力の量や必要な資器材を把握できるよう準備工から完成まで通して行う演習内容としています。

工法に必要な資機材も予め必要量用意することなく、各班の判断で資材や道具の選定・調達を行います。工法の理解度が試されるところです。

準備工では、基本作業である「土のう作り」「杭ごしらえ」「ロープワーク」をマスターします。

「水防専門家」「防災エキスパート」が指導に加わり技術習得を支援します。

一昨年創設された「水防専門家派遣制度」により2名の水防専門家の派遣を得たほか、河川に精通した「防災エキスパート」も7名配置、「出雲結い工」の指導者も含め10人の指導者がきめ細かく指導にあたります。

地元水防団と「災害対策協力会」が連携した作業を行います。

建設機械を保有する「斐伊川水系災害対策協力会」（災対協・地元有志の建設会社で組織）が、地域の水防団が行う水防活動を支援する場面を想定した演習を行います。

今回は、現場で漏水対策を実施する水防団に災対協が土のうを供給します。

工法のやり方や使用材料を時代に即した形で実演します。

「改良積み土のう工」は、土のうとブルーシートだけでできるよう工夫された工法です。従来の「積み土のう工」に比べて鉄筋や間詰め土が不要なため作業の省力化・迅速化が図れるほか、コンクリート護岸や舗装した場所など鉄杭を打ち込めないところでも有効です。

また、各工法に由来から使用してきた「わら縄」や「番線」などの資材は近年あまりなじみがなく取扱いに不慣れです。誰でも扱いやすく調達も容易なナイロンロープや竹の代わりとなる単管パイプなどの資材も応用します。

また、地元企業が開発した土のう製造器「ビー・ビー・ワーカー」も使用します。土のうづくりは大変重労働ですが、この器具を使用すると従来より少ない人員で数倍早く土のうを作ることができます。

斐伊川オリジナルの伝統工法「出雲結い工」を実演します。

「出雲結い工」は、天井川で砂河川である斐伊川の特性を巧に利用した破堤後の応急堤防締切工です。先人達が生み出した知恵と技術を受け継ぐため「出雲結い工」は毎年実施しています。

破堤を想定した応急締切工を建設機械を使って実施します。

近年は地球規模の気象変動に伴って堤防が決壊するような大きな水害が発生することも特異なことではなくなってきました。

災対協が建設機械を使って決壊した堤防を緊急・応急的に締め切る工法を実演します。

災害現場で活躍する「排水ポンプ車」「照明車」の実演をします。

近年、「排水ポンプ車」や「照明車」などの特殊作業機械の活躍ぶりが全国各地の災害現場において注目されています。

「排水ポンプ車」は、堤防の民地側に溜まった水(内水)による浸水被害を軽減するため強制的に河川に排水する機械で、出雲河川事務所では、これを2台保有しています。

今回、会場の斐伊川の流れを利用してこの排水ポンプ車による排水作業と、同じく出雲河川事務所が保有している照明車の運転を実演します。

地元雲南市の自主防災組織「斐伊地域防災会議」が始めて一般参加します。

水防団や行政、建設会社以外からこの水防演習に住民が一般参加するのは今回が初めてのことです。

「斐伊地域防災会議」には、土のう作りからみんなでできる浸水対策の応用例、「改良積み土のう工」にチャレンジしていただきます。

斐伊川より下流域の沿川市町の首長を来賓にお迎えします。

出水対応には関係機関の綿密な連携と協力が欠かせません。

上流域での水防活動を下流域の自治体の方々にもご理解いただくために今回から水防演習にお招きしております。

平成21年度（第15回）斐伊川水防演習

実 施 要 領

1. 目 的

洪水による被害の発生を未然に防止し、又は、被害を最小限に食い止めるためには、関係機関が密接な連携のもと、迅速かつ的確な水防活動を行うことが必要である。

国土交通省・島根県・水防管理団体をはじめとする関係機関は、水防工法の訓練を行い技術の習得・錬磨を図るとともに、水防に携わる職員・団体の志気の高揚に資することを目的に、斐伊川水防演習を開催するものである。

2. 主 催

国土交通省 出雲河川事務所
" 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
島 根 県 雲南県土整備事務所
" 出雲県土整備事務所
出 雲 市
雲 南 市
斐 川 町

3. 協 賛

斐伊川水系災害対策協力会
(社)中国建設弘済会 島根支部

4. 来 賓

島根県河川課長
雲南警察署長
出雲市消防本部 消防長
雲南消防本部 消防長
斐伊川下流沿川首長
斐伊川水系災害対策協力会長
(社)中国建設弘済会 島根支部長

5. 開催日時

平成21年5月30日（土） 9時00分～12時00分

6. 開催場所

雲南市三刀屋町下熊谷地先 斐伊川左岸高水敷（27k000付近）

7. 参加機関

出雲市水防団
雲南市水防団
斐川町水防団
斐伊地域防災会議(雲南市自主防災組織)
島根県 雲南県土整備事務所
" 出雲県土整備事務所
斐伊川水系災害対策協力会
国土交通省 出雲河川事務所
" 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
(社)中国建設弘済会 島根支部

8. 組織及び事務分掌

【演習本部】 演習全体の総括
本部長：出雲河川事務所長
副本部長：斐伊川・神戸川事務所長
"：雲南県土整備事務所長
"：出雲県土整備事務所長
"：雲南市長
"：出雲市長
"：斐川町長
本部付：出雲河川事務所 防災情報課長

【演習進行部】 演習の運営・広報
部長：出雲河川事務所（技）副所長
進行部付：出雲河川事務所 河川管理課長

【演習実施部】 演習の実施
部長：出雲河川事務所（技）副所長
副本部長：雲南県土整備事務所 維持管理部長
"：出雲県土整備事務所 業務部長
実施部付：出雲市水防団長
雲南市水防団長
斐川町水防団長

工法指導

水防専門家（2名）
防災エキスパート（7名）
斐伊川水系災害対策協力会（1名）

統括指揮者

雲南市水防団 副団長

第1班	雲南市大東方面隊水防班（月の輪工）	20名
第2班	雲南市吉田方面隊水防班（木流し・竹流し工）	20名
第3班	雲南市掛合方面隊水防班（木流し・竹流し工）	21名
第4班	斐伊地域防災会議（改良積み土のう工）	20名
第5班	出雲市平田方面隊水防班（釜段工）	24名
第6班	出雲市平田方面隊水防班（シート張り工）	9名
第7班	出雲市湖陵方面隊水防班（積み土のう工）	20名
第8班	出雲市大社方面隊水防班（改良積み土のう工）	20名
第9班	斐川町水防班（改良積み土のう工）	30名
第10班	島根県雲南県土整備事務所水防班（月の輪工）	26名
第11班	島根県出雲県土整備事務所水防班（積み土のう工）	22名
第12班	斐伊川水系災害対策協力会水防班（出雲結い工）	15名
第13班	斐伊川水系災害対策協力会水防班（破堤部応急締切工）	5名
	（建設機械支援）	5名
第14班	国土交通省水防班（シート張り工）	20名
第15班	国土交通省水防班（排水ポンプ車・照明車）	5名

9. 演習日程

8 : 3 0 ~	(準 備)		
9 : 0 0 ~	(開 会 式)		
	開 会 の 辞		
	主 催 者 挨 拶	出 雲 河 川 事 務 所 長 (演 習 本 部 長)	
		雲 南 市 長 (開 催 地 首 長)	
9 : 2 0 ~	(演 習)		
	準 備 工	全 班	
	演 習 (前 半)	第 6 班 ・ 第 14 班	シ ー ト 張 り 工
		第 2 班 ・ 第 3 班	木 流 し 工 ・ 竹 流 し 工
		第 7 班 ・ 第 11 班	積 土 の う 工
		第 4 班 ・ 第 8 班 ・ 第 9 班	改 良 積 土 の う 工
		第 13 班	破 堤 部 応 急 締 切 工
	演 習 (後 半)	第 1 班 ・ 第 10 班	建 設 機 械 支 援
		第 5 班	月 の 輪 工
		第 15 班	釜 段 工
	演 習 (通 し)	第 12 班	排 水 ポ ン プ 車 ・ 照 明 車
			出 雲 結 工
1 1 : 5 0 ~	(閉 会 式)		
	講 評	島 根 県 河 川 課 長	
	閉 会 の 辞		
	解 散	12:00	

10. 参加人員

出雲市水防団	1 0 3 名
雲南市水防団	6 1 名
斐川町水防団	3 0 名
斐伊地域防災会議(雲南市自主防災組織)	2 0 名
島根県雲南県土整備事務所	2 6 名
〃 出雲県土整備事務所	2 2 名
斐伊川水系災害対策協力会	2 5 名
国土交通省出雲河川事務所	2 0 名
〃 斐伊川・神戸川	
総合開発工事事務所	5 名
工法指導者	1 0 名
来賓・役員他関係機関参加者	5 3 名
計	3 7 5 名

11. 演習の進行

別紙「平成21年度斐伊川水防演習日程」のとおり。

12. 演習会場の位置等

別紙「演習会場位置図」「演習会場配置図」のとおり。

H21 斐伊川水防演習日程

平成21年5月30日

		9:00					10:00					11:00					12:00					備 考						
		0	10	20	30	40	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30	40	50	0									
開会式	開 会 の 辞	■																										
	挨 拶	■ 出雲河川事務所長 ■ 雲南市長																										
工 法 演 習	シ ー ト 張 り 工 第6班・第14班	準備工					演 習					見 学																
	木 流 し 工 ・ 竹 流 し 工 第2班・第3班	準備工					演 習					見 学																
	積 み 土 の う 工 第7班・第11班	準備工					演 習					見 学																
	改 良 積 み 土 の う 工 第4班・第8班・第9班	準備工					演 習					見 学																
	月 の 輪 工 第1班・第10班						準備工					見 学					演 習											
	釜 段 工 第5班						準備工					見 学					演 習											
	出 雲 結 い 工 第12班						演 習																					
	破 堤 部 応 急 締 切 工 建 設 機 械 支 援 第13班	準備工					破堤部応急締切工					建設機械支援																
	排 水 ポ ン プ 車 ・ 照 明 車 第15班						準備工					排水ポンプ車・照明車																
	工 法 視 察	■																										
閉会式	講 評	■ 島根県河川課長																										
	閉 会 の 辞	■																										

演習会場配置図

